

アジアの子ども達は、アジアの人達で助けませんか？ そして、子ども達に勉強する机と椅子を与えて下さい！

(1) 世界の開発途上国の子ども達は勉強する機会を奪われています！

今、アジアの国々は環境悪化の一途をたどっています。いつも犠牲になるのは子ども達です。食料不足からくる栄養失調だったり、貧困による家族の崩壊だったりです。そして教師・学校・机・教科書も不足して、教育を受けられない子ども達があふれている現実があります。環境悪化と教育問題はきわめて密接な関係にあります。

カンボジアは長い内戦時代を経た現在もまだ、小学校卒業率約20%、国民全体の識字率67%以下、栄養不足率33%、失業率35%です。

(2) 今、日本政府が環境問題に真剣に取り組んでいます！

日本政府は「循環型社会形成推進基本法」を強力に進めています。現在、わが国の学校の机・椅子は10年程度使われて廃棄・焼却されています。なんとか有効利用できないか、大きな課題でした。

(3) 行政との協働事業で使わなくなった机・椅子を有効に利用することに考えました

わたし達は開発途上国の子ども達の教育現状を何とかしたいと考えていました。

そこで江東区やNPO法人「JHP・学校をつくる会」の官民三者共同して「国際リサイクル活動」に取り組むことにしました。日本では初の本格的な「官民とのパートナーシップ」の活動です。そして2004年4月にNGO「海外リサイクル支援協会」を設立しました。

2004年6月に第1回目の机・椅子300セット、ノート、えんぴつ、楽器などを贈りました。

(4) 日本とカンボジアの子ども達のかけ橋になりたい！

わたし達は「机・椅子などを贈る」ことだけでなく、この活動を通して次世代を担う日本とカンボジアの子ども達が「豊かな国を創る強い力」「自分の国を愛する心」「家族・友達への思いやりのある豊かな心」「アジアの隣人を想う気持ち」「物を大切に作る心」を育んでもらえたらと期待しています。これからも国際リサイクル活動を強力に進めていきます。

(5) 将来は机と椅子と学用品を沢山のアジアの国の子ども達に贈りたい！

わたし達は、将来は日本全国に支援の輪を作りたいと思っています。そして、将来はカンボジアだけでなく、数多くの開発途上国の「子ども達の教育の場作り」を支援していきたいと考えています。そして「アジアの開発途上国の子ども達同士の交流」や「現地での雇用創出のための職業訓練」等も推進していきます。

(6) この子ども達の国までの輸送費を支援してください！

コンテナを使い1回分、机・椅子300セットを贈る輸送費用は約100万円掛かります。今、カンボジアの多くの子ども達は机・椅子を待ちこがれています。会員が増えれば、年2回贈りたいのです。是非、会員になって支援して下さい。

海外リサイクル支援協会 理事長 小林喜久男

みんなの声たより

「どんな国かな？」
「あの机を気に入ってくれているかな？ 心配だ？」
「僕の椅子に座る人はどういう人かな？」
「友達になりたいな？ いつかその友達に会いたいな！」

日本の子ども達より

「わたしの机と椅子だ！」
「どんな友達が使っていたんだろう？」
「日本の友達の香りがする！」
「いつか会えますよーに！」

カンボジアの小学生より

カンボジアの子ども達の瞳はキラキラ輝いていました
こんなに心から優しく、清らかな子どもを見たことはありません
机と椅子を贈ってくれた事をほんとうに喜んでいました
いつまでも平和で争いのない世界であってほしい

カンボジア派遣団より

ORSA とは？

海外リサイクル支援協会

OVERSEAS RECYCLING SUPPORT ASSOCIATIONの

頭文字を取っています。

愛称「オルサ」と呼んで下さい。

NGO 海外リサイクル支援協会

事務局

東京都江東区新木場二丁目14番1号

株式会社大東運輸 内

TEL. 03-6457-0411 FAX.03-6457-0401

URL: <http://www.daitoh-unyu.co.jp/kaigairecycle/>

ORSA



NGO 海外リサイクル 支援協会

